



発行所
福井県大野郡
和泉村

(昭和41年10月1日現在)

村の人口	
出生	4人
死亡	0人
転入	34人
転出	31人
総人口	3,915人
男	2,071人
女	1,844人
世帯数	1,214世帯

村の面積
332.26平方km

今月の目標

- 読書の秋です
- ◎本を読む習慣をつけましょう。
 - ◎良い本を読んで人格を高めましょう。

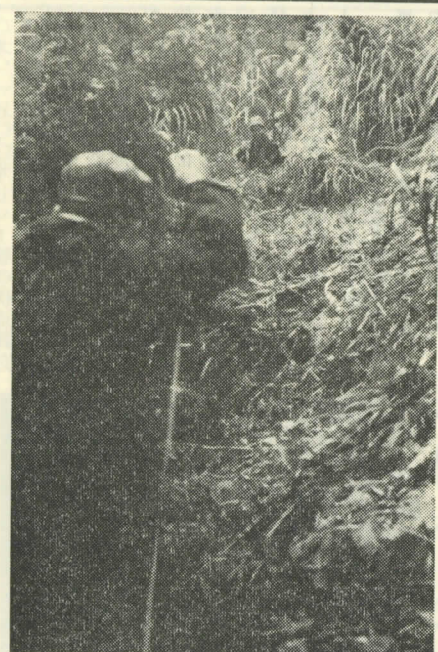
越美北線延長工事

いよいよ本格化

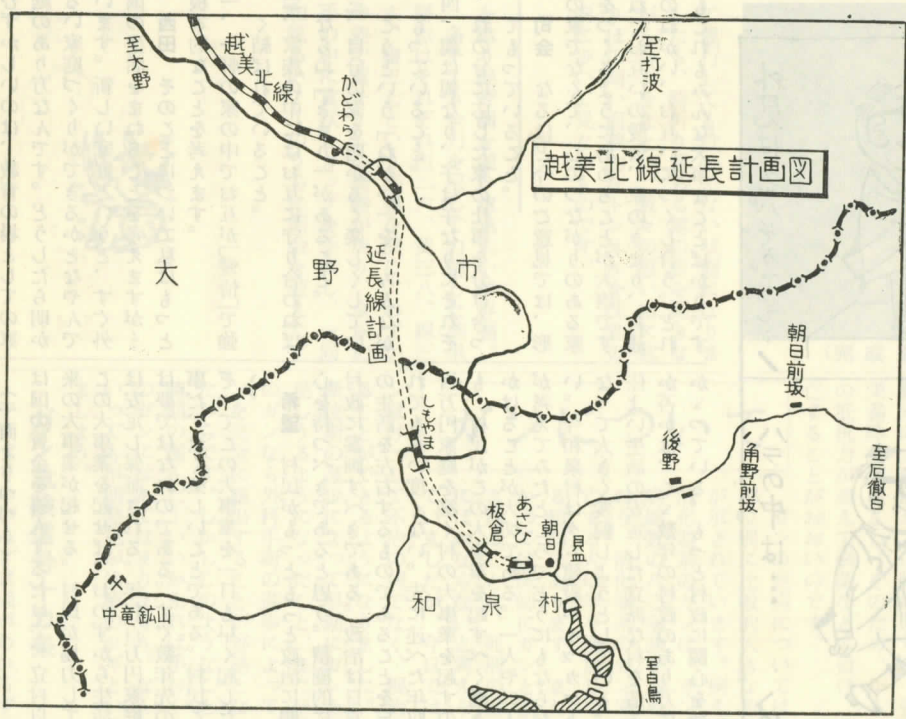
待望の勝原―朝日間の延長工事の実は、本村開発の重要ポイントとなっていることから、かねて議会においても完通促進特別委員会を設けて、その着工の一日も早からんことに努力して来たが、現実には我々の目に見える村内関係については、下山―板倉間の隧道(地図参照)については日本鉄道建設公団名古屋支社は、その実施計画に基いて

日本物理探鉱株式会社をして予備測量地質調査、物理探鉱(爆破反応により地盤検査を行う)ボーリングを行うこととしていたが、その最初の過程である予備測量(地質調査の基本)を去る十月十二日より下山地区から実施している。

同測量の水島、吉岡両技師は、測量に約一〇日、地質調査に一〇日、物理



(下山岡畑において
物理探鉱KKの予備測量風景)



探鉱に四〇日の予定で進めていると語っている。

◎ 一行新知識 大道廃れて仁義あり

村議の顔

尾崎彦次郎

趣味 強いていえば「ザル碁」を時に楽しむ程度、我ながら無味無臭に感じている。それに酒もタバコもパチンコも私には不要で、全く安上りにできている。

抱負 結論を先にいえば「大林業の村造り」である、ダムが出来ると災害もなくなり従って土木事業も激減して失職する人達が多くなる。又電源開発に従事していた人達も失職してこれらの人達に完全に仕事を与えて、生活にとまどうことのない様にし、安心して郷土の産業振興をしてゆく道は色々あるかも知れないが、私は一番手っ取り早いのが大造林事業であると思う。無限の山林を持つ山村でありながら、余り山林を生かしていない。国や公共機関の資金を導入して大事業を起せば、健康な者は皆働くことができ、生活にゆとりが出来て来ると妙に欲が生じて来るのが人の常である。そうなる山林に付随した兼業経営(シイタケ、オオレン、その他)が生じてくる私はこの数年後に、なんと少しでも年収百万円家庭を造りたいと思う。これは決して遠い夢ではない。今村の再建方策審議会ではこの様なことも立案計画している。私もその一人として一日も早くこれが実現するよう努力したい

数十年前からの村民の悲願であった鉄道も既に着工されて、着々と進行している。昔日の夢はすぐそこまで来ている。交通運輸はもう確保されたも同然だ。それに山林は無限にある。あと

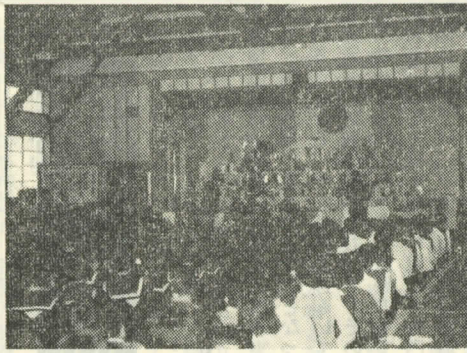
(二面につづく)

戦歿者慰霊祭執行

昭和四十一年度和泉村戦歿者慰霊祭が、十月十三日午前十時より朝日小学校において儀式により厳修されました。導師は長勝寺、威徳寺、浄栄寺の住職で香煙たちこめる中を、しめやかな読経につれて遺族六十三名の方々が、在りし日を偲びながら香を手向けられました。

来賓として県知事代理、高志福祉事務所、高志地区遺族連合会長が列席され、村民の方も多数参列されました。

(朝日小学校における慰霊祭の様相)



野溝参議員一行来村

社会党の野溝参議員一行は十月八日越美北線延長工事の状況視察の為再び来村されました。(前回の来村は昭和三十七年七月)



「家庭教育」紙上座談会

(1) 家庭の在り方

司会 きょうはお忙しいところお集りをねがい、家庭教育についていろいろご意見をおききたいと思ひます。

戦後二十年、日本は激しい歩みに飛躍的な発展を遂げましたが、私たち家庭におきまして、子どもの教育を今一度考えて見る必要があると思ひます。きょうお集りの方は子どもの教育について非常に熱心に考えておられ、またなやみも多くなっておられることと思ひます。どうか率直なご意見や、なやみを活潑におだしねがいたいと思ひます

東山 いま家庭教育についてどんな悩みがあるかということですが、それよりさきに一体家庭というのはどういう意味をもっているかということですか私なりに考えますと、

- 一、家族のものが共同で「くらし」をする場所。
 - 二、それぞれの家族が一日の仕事をするまて楽しくだんらんをする「いい」の場所。
 - 三、親が家庭において「子どもの教育」をする場所。
- など考えられます。そのうちでも一番

◎ 一行新知識 大事の前の小事

むずかしいのは、教育の場としての家庭のあり方なんです。どうしたら明かるとい家庭づくりができるかとなやんでいます。新しい家庭という、すぐ外国の生活をまねることを考えますが、

西田 そのことについて私はもっと根本的なことを考えます。

一、一軒の家の中でお互が「愛情」で強く結ばれていること。

二、家族の中にお互に守り合われねばならぬ「きまり」があること。

三、自分の家を明かると楽しくしていることという「ねがい」を、みんながもっていること。

四、親は親なり、子は子なりにそれぞれの分に応じた家の仕事を分け合っ

てもっていること。

司会 なるほど今のご意見では、形の家でなくて、心のつながりのある家をつくるように努めることが大事ですね。お互いの愛情、家のきまり、共通のねがい、お互につくし合う。どれもこれもみんな大事なことばかりです

(二面よりつづく)

は国の資金を導入するだけで、立村以来の大事業が起せる。村民が協力してこの大事業を起せば、おのずから生活は安定し保証される。年収百万円家庭は夢ではないのである。すぐ数年先の事だ、全く楽しいことである。村民こそってこの大事業を一日も早く起したい。

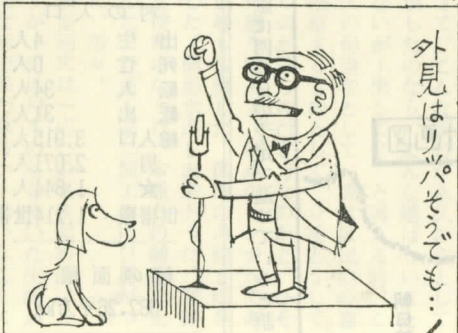
希望 村民がもっとも政治に関心を持つべきであると思う。積極的に村政に参画すべきである。政治は日常生活を左右するものであることを忘れてもらい度くない。先に述べた年収百万円家庭を築く村の大事業を起すのも、村民がこの大事業を起すべく働きかけることが大切である。一人や二人が考えてみたところでどうにもならない。今和泉村はダム建設がキッカケとなって大きく変貌しようとしている。住よい生活の安定した立派な村を造るか否かは、この数年の村政のあり方にかかっている。もっと村政に関心を持

って貰い度いと希望する。

雑感 昨今国会ははじめ福井県議会で汚れた話題でいっぱいである。公職にある者は、その地位や立場から普通的事をやってもそれが問題になりがちである。従って当然この位の事と思われることでも今一度考え直して行うことが大切であると痛感している。公職にあれば方々から色々な働きかけがあるものである。だから余程入念に吟味して対処しなければならぬ。

明るく正しい選挙運動余談

選挙の公明化運動、近くは、明るく正しい選挙運動が展開されてから相当の歳月がたつ。にもかかわらず、選挙のたびにかなりの買収犯等が検挙されているし、こうした運動の成果に対して疑問をもつ向きもある。しかし(三面につづく)



職場から

九頭竜川電源開発の

トンネル工事について

電源開発(株)九頭竜川建設所

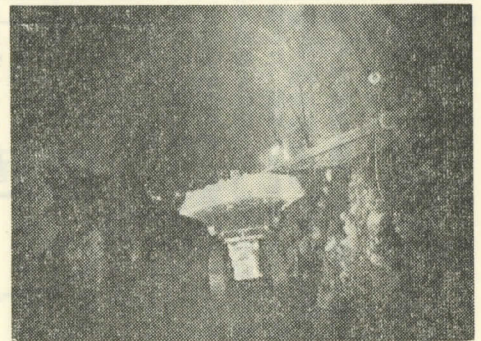
職場だよりの欄に、当所も寄稿の依頼を受けましたので、村民の皆様は九頭竜川電源開発の内、ダムにたくれて余り目立たないトンネル工事について簡単に知らせたいと思います。

九頭竜川電源開発のトンネル総延長は約一三、五〇〇米あります(北陸トンネルと大体同じ)この内十月十五日までに約七、四〇〇米掘削が完了しています。破砕帯が可成りありましたが担当者一丸の努力によって略々所期の目的を達成し、残りの工事に対しても

更に闘志を燃やして当所も業者も日夜努力を続けています。

九月十五日での掘進距離が約六、五〇〇米でしたので、先月より約九〇〇米掘進した訳であります。これは一日当り平均三〇〇米程度の進捗になります。もしこのペースで行きますと来年夏頃には全部貫通することが出来るわけです。

落盤等ややもすれば危険の多いトンネルの中で黙々と働く人達の姿は想像も出来ない程尊いものであります。コンクリートの巻立がすべて完了し



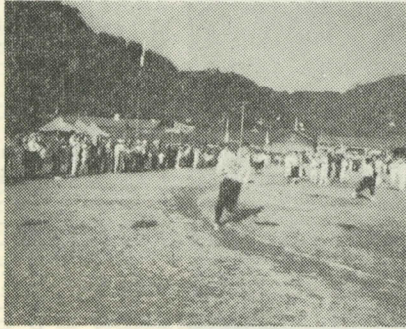
(完成途中のトンネル)

て通行しても危険でない状態になりましたら、時折り落ちる零の音を聞きながら合羽をまとい、数々の思い出に耽りほの暗い直線のトンネルを沈黙の内に歩いて見たいものです。

恒例の村民体育会

本村十周年記念行事に関連して、十月二日に行う予定の村民体育会は、折悪しく雨にたたられ延期のやむなきに至ったが、第二予定日の去る十六日は前日までの雨にも拘らずカラリと晴れ上り、近來にないスポーツ日和となった。

全村を白、黄、緑、橙の四チームに分ち対抗色を打出し電源グラウンドにおいて華々しく開幕された。各チームそれぞれ選手を出し、余興競技のあいだを縫って一〇〇米、二人三脚、四〇〇米、一五〇〇米リレー等の得点競技



(総合リレーの様相)

を織り混ぜ覇を競い意気大いに昇揚。各チーム全力を尽して力闘した結果得点はそれぞれ白二六、黄三八、緑三六、橙三七という接戦を演じ、わずかの差で黄チームの優勝が決り、全員拍手の中に賞状とカップを手にし、一同和気あいゝのうちに閉会を迎えた。



「私の健康」

ガンがどうしてできるかは、まだよくわかりません。ガンは、細菌のようからだの外から入ったものが害をするのでなく、人のからだをつくっている細胞からガン細胞が発生して害をするのでなく、一度からだのどこかにガンができる、からだ全体を養う大切な養分の大半はガンに吸い取られ、強い栄養障害をおこし、そのため、からだの抵抗力が衰えて細菌などに負け、死亡することがおおいのです。

ガンについて

(二面よりつづく)
こうした運動は、社会環境の変容のなかに長い期間をもって継続されることに成果そのものがめばえるものと思ふ。

啓発重点地区で行なわれた選挙に際して、酒屋が選管委に営業妨害といつて抗議を申し入れて来たそう。その真相は、選挙の明正化運動の余波をうけて、従来、選挙ともなると大いに酒がうれたのに、こんどはさっぱりで、これこそまさに選管委による営業妨害にほかならないというわけだ。この余談は、愉快でもあり、大きな含著をもつものと思ふ。(自治省選挙局長)

ガンの発病については、部位別に比較的大きな差異が示されています。例えば消化器系のガンは、ガン発病総数の八〇%強を占めており、消化器系のガンで死亡する人は年々増加している傾向にあります。また、かつては医師にガンと診断されることは、死刑の宣告にほかならないと考えられていましたが、今日ではガンはけつして不治の病でなく、根治することができるようになりました。診断技術の進歩によって早期にガンを発見しうるようになったこと、また早期のガンなら外科手術の進歩によってガンを完全に摘出することが容易となったからです。しかしこのようなことは時期の進んだいいかえれば手おくれのガンにはあてはまりません。なんともいっても早期発見が治療のカギといえます。

ガン危険信号十カ条

▽すべてのがん原因がわからず痛

- ▽みもないのにやせてきて、顔色がわるくなり、貧血してくることはないか。
- ▽胃がんと胃腸のぐあいかわるくないか。食欲はおとろえないか。
- ▽子宮がんとおりものがふえたり、血がまじったりしないか。不定期出血や接触出血はないか。
- ▽乳がんと乳房のなかがく消えないしこりはなかい。
- ▽食道がんとものをのみこむとき、つかえるような気がしないか。
- ▽大腸がんと、直腸がんと便通の調子がくるったり、血がまじったりしないか。
- ▽肺がんとせきがながく続いたり、たんに血がまじったりしないか。
- ▽咽喉がんと声がかすれてながく治らないことはないか。
- ▽舌がんと、皮ふがんと口のなかや皮ふに治りにくい潰瘍はないか。
- ▽腎臓がんと、膀胱がんと、前立腺がんと尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか。

◎ 一行新知識

後足で砂をかける

火災予防 その三

人口の増加と共に家屋も密集し、火災の起こる確率も又大きくなって来ました。火災は、いつ、どんな所で起るかも知れません。こうした緊急の場合、もっとも良い行動をとる為には平素どんな心構えが必要か、また緊急の場合に備えてどのような準備をしておかなければならないかを各自研究し早速実行にうつしましょう。

(1)外出時、就寝時の火気に注意
イ、体の不自由な人、子供を、こたつに寝かせたまま外出しないこと。
ロ、外出する時はこたつの炭火に灰をかけたなり、ふとんをあけて熱を逃がすようにし、電気こたつは必ずスイッチを切ることに、就寝時にはガス栓の元を必ず確認すること。

ハ、常時火を使用する場所には、適当な消火器具を用意すること。
ニ、就寝前にバケツに水の吸みおきをしておくこと。

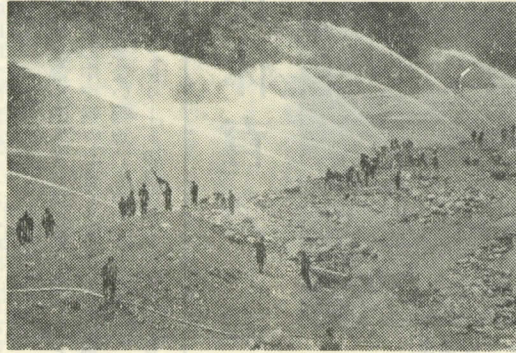
(2)貴重品等の取りまとめ
イ、貴重品等を非常の場合に探したり取りに戻ることがないように、容易に持ち出せるように準備しておくこと。

(3)避難器具の用意
イ、非常の際、避難の困難な階上すまいの住宅等には、ハンマー、ロープ避難ハンゴ等を用意し、避難方法を検討しておくこと。

(4)避難口の確保
イ、避難の障害となる物件は除去し、避難口を確保しておくこと。

(5)避難場所の選定
イ、火事、地震等の災害が発生した場合に備えて、予め避難する方向や方法について計画をたてておくこと。
ロ、避難場所は火災等の程度に応じられるよう一次的なものでなく、二次的なものまで選定しておくこと。
(和泉村消防団)

法について計画をたてておくこと。
ロ、避難場所は火災等の程度に応じられるよう一次的なものでなく、二次的なものまで選定しておくこと。
(和泉村消防団)



人のうしろ

【出生】
上大納 原 和美 敬一三女
下半原 石神小百合 満雄二女

【婚姻】
○久沢 高瀬 若子
名古屋市瑞穂区 久保 福和
○朝日 田中 道子
朝日 長沢 陽

【死亡】
伊勢 山下じゆん 八一才
鹿島 竹川 弘雄 一九才

◎ 一行新知識 石を抱きて淵に入る



朝日の悩み (朝日区)

今まで「いずみ」を愛読し二回の部落便りを読ませてもらいまして、これらを参考に「朝日」を御紹介したいと考えましたが、御承知の通り最近この部落の変り方は、とうてい昔の人の考え及ばなかったものがあり、若し私の父がいたらどんな気持ちになるだろうと思います。世の移り変りに添ったとは言うものの、伊勢湾台風の大災害によって昔なつかしい小耐の遊んだ小川は消え、延々曲線の美しい大堤防が出来上り、とんぼとたわむれた村の小みちは田圃や畑と共に一面の建物におおわれてしまった。朝日の変り方は一昔前を知っている人なら誰でも驚きの目を見張ることと思う。

季節の話題

十一月の解説

十一月を和名で「しもつき」といいます。奥儀抄という本に「十一月、霜しきりにふる故に霜降月といひ、ちちまつて「しもつき」と言う」とあります。このことばはかなり古くから使われたとみえ、日本書紀、神武天皇紀にも出てきます。

しもつきはこのほか、なかの冬、雪待月、つゆこもりの月、神帰月、神楽月、仲冬などたくさん呼び名があります。神帰月は十月の神無月に対照したものでしょう。八月は立冬ですが、太陽の黄経度が二百二十五度に当たることになり、季節はこの日から入るわけです。十一月は師走をひかえて家事にとり組む最後の月ですし、農家は、ことし最後の忙しい月ですが、収穫のよるこびを味わう豊かな季節です。

道路は共有

歩く人も車の人も 事故絶滅に気をつけて

最近交通事故が急激に増加し、九月までに早くも全国で一万人の事故死亡があったといわれ、この一万人という人数はベトナム戦争で戦死した米国兵士の二倍に相当するそうです。何と恐ろしい話ではありませんか。

併しこれは、決してよごとではなく、和泉村の交通事情も、日に日に危険が増大する一方であります。歩く人も、乗車する人も車に気を配って事故のないよう注意して下さい。

特に、車を使われるお方は、熟練したからと油断をなさらないよう、また歩く方々は、運転する人にのみ責任をあずけず、必ず危険と気付いた時は事前に車を避けましょう。

編集後記

秋も深まり冷気身にしむ頃となりました。予防注射もありましたが、感冒にかかり易い季節、御一同十分に健康に気をつけて下さい。ともすると「かぜ」くらいと高をくくり勝ち、「万病」のもとになることを忘れず早目に治療して、食欲の秋、錦繡の秋をたのしんでほしいものです。

今年は台風シーズンも恙がなく通過し、豊年を祝う年になりそうです。季節外れの風水害が処々に起つておりますが、お見舞の金品など取り扱っておりますが、自分たちの嘗てに比べて応分の助け合いをお願いします。